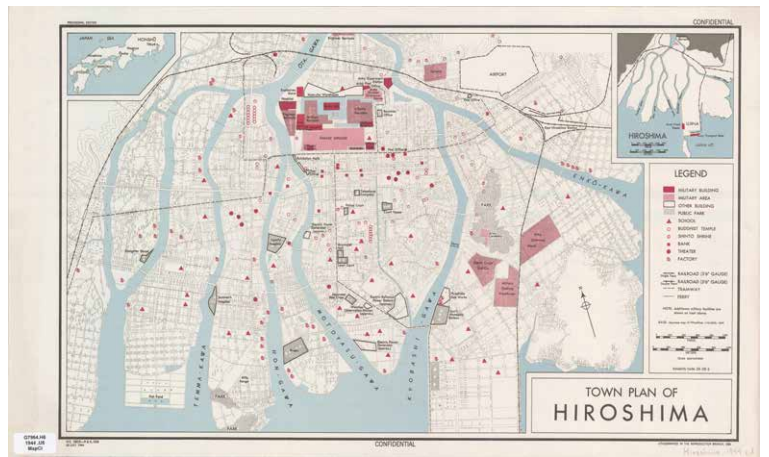


# げんぱく 1. 原爆投下まで

1944年(昭和19年)7月、日本の委任統治領であったサイパン島が米軍に占領された。この年から実戦投入された米軍の爆撃機 B-29 は航続距離が長く、無給油で日本本土往復が可能であるため、サイパン島を含むマリアナ諸島が日本への空襲の拠点となった。

1944年11月24日から始まる日本本土への空襲に先立ち、米軍は11月1日から日本各地の都市の写真偵察を開始し情報収集を行った。

原爆投下のためには専門の部隊が編成され、サイパン島の西南にあるテナン島に基地が置かれた。



1-1. 偵察機での空撮以前に作成された広島地図

1944年(昭和19年)7月30日 シカゴ大学図書館地図室所蔵 2017年(平成29年)収集  
マリアナ諸島を拠点とした写真偵察が始まる以前に作成されたもの。1933年(昭和8年)に広島で発行された地図をもとに軍事施設などの情報が英語で示されている。



1-2. 航空写真を元に作成された図

1945年(昭和20年)4月~8月頃 米海兵隊歴史部所蔵 2017年(平成29年)収集  
1945年4月13日に撮影された航空写真をもとに、軍事・生産施設などの位置を示したものの。



1-3. テナン島北飛行場のエノラ・ゲイ

1945年(昭和20年)9月2日 ケネス・アイトネス撮影・寄贈  
米国立空軍博物館所蔵 2016年(平成28年)収集

広島に原子爆弾を投下したB-29爆撃機エノラ・ゲイ。機名はパイロットのポール・ティベッツの母親の名にちなむ。この写真は原爆投下部隊「第509混成群団」の技術軍曹ケネス・アイトネスがテナン島で個人的にカラー撮影したもの。



1-4. エノラ・ゲイから撮影されたテナン島北飛行場

1945年(昭和20年)8月26日 ケネス・アイトネス撮影・寄贈  
米国立空軍博物館所蔵 2016年度(平成28年度)収集

ここから飛び立ったB-29が広島・長崎へ原爆を投下した。4本の滑走路の北(画面左側)には原爆搭載用のピットが見える。アイトネスのメモに8月26日の任務中にエノラ・ゲイから撮影したとあるため、右上に写り込んでいるのは同機の左主翼と推測される。